

科目名		インテリア実習 II			
担当教員		木戸 久美子		実務授業の有無	有
対象学科		インテリアデザイン科	対象学年	2	開講時期
必修・選択		必修	授業形式	実習	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		デザインコンペへの参加を通じ、実務に活かせるプレゼンテーション技法を身に付けます。 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 課題制作を中心に、見せ方、描き方学び、就活に活かす作品を作る。 3. 条件に則したプレゼンツール作成の基本を理解する。 4. プレゼンテーション（発表）の手法を学ぶ。			
学習目標（到達目標）		インテリアコーディネーターの業務においてプレゼンテーションの重要性を理解します。3Dインテリアデザイナーの基本操作を学びながら、インテリアコーディネートの基本知識とセンスを身に付け、訴求力のあるプレゼンテーションボードをつくるテクニックを学びます。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①超図解で全部わかる インテリアデザイン入門 ②3DインテリアデザイナーNeo3			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	第19回 主張する「みせ」 学生デザインコンペ 課題完成（11/26提出）			方法：制作したプレゼンシートを使用し、PowerPointでのプレゼンテーション技法を身に付ける。 目標：実務に活かせるプレゼン技法を習得する。	
2	①テーマを理解し、作品の核となるキーワードを見つける。 ②作品のコンセプトを考えデザインにどう反映するか考える。			方法：作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 発表まで工程やクオリティ管理を行う。 目標：工程、精度とともに、入賞を目的とする。 準備：配布プリント	
3	③付帯条件を理解し、空間の全体イメージを決める。 ④作品で使用する、インテリアエレメント（要素）を決める。			方法：作品制作を通して、オリジナル作品制作を行う。 発表まで工程やクオリティ管理を行う。 目標：工程、精度とともに、入賞を目的とする。 準備：配布プリント	
4	コンペ作品発表 ①プレゼンシートを完成			プレゼンシートを完成させ、コンセプトや内容について発表し、講評と解説を行う。	
5					
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
取組姿勢	課題			デザインコンペへの参加を通じ、インテリアデザインの表現と、訴求力のあるプレゼンボード制作のスキルを養う。トレンドの分析力、マーケティング要素。条件の整理と考え方の流れを意識して取り組むことがポイントとなる。企画内容の基本を固め、各作業工程の演習しっかり積み上げることを重視し作品精度を上げていく。個人作業が主体で、レベル差が出やすいので、適宜個人指導も行う。	
30 %	70 %	%	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		インテリアコーディネーターの業務における歴20年			